

臓器病態学 I

授業概要

臓器病態学 I の講義では循環器系（心・腎・血管系）の本来の役割を理解するための生理学・生化学について広い視点から講義し、心不全、腎不全、高血圧、動脈硬化といった病態のためにどのような不都合な問題が生じるのかを学ぶ。特に重要臓器として脳、心、腎の臓器障害について臓器連関を含め病態生理を理解し、これらの病態を解決するための手段としての内科治療、外科治療、予防医学的治療について臨床症例を提示しながら学習する。最終的には未来医学のあるべき姿に関しての議論にまで発展させたいと考えている。

担当教員

織田禎二（主担当）	教授・循環器・呼吸器外科学
田邊一明	教授・内科学第四
石橋 豊	教授・総合医療学
伊藤孝史	講師・腎臓内科

一般目標 general instructional objectives

1. 心、腎、血管系の本来の役割を理解する。
2. 腎不全の進行機序を腎生理学、病態学の立場から理解する。
3. 重要臓器におこった臓器障害を正しく理解し、それに対して正しい解決法を見いだせる。
4. 未来の医学の方向性に関して議論できる知識を習得し、解決策を提起できる。

行動目標 specific behavioral objectives

1. 循環器系疾患の個々の病態を説明でき、正しい治療選択ができる。
2. 腎不全の進行およびその治療法を説明できる。
3. 近年の生活習慣の変化による健康への影響を説明し、その是正策を提案できる。
4. 病気予防の方策について説明し、医療現場で実践できる。

成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率（2/3 以上）を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

講義内容

織田禎二：不全心の形態変化を外科学の視点より捉え、また心不全に対する外科治療の歴史を概括した上で、補助人工心臓を含めた外科治療法について解説する。

田邊一明：心不全の診断と治療に対する考え方について解説する。また、これからの循環器診療の視点から心不全の予防について解説する。

石橋 豊：血管疾患の病態・診断について解説し、治療および予防について概説する。

伊藤孝史：腎不全の主要な原疾患、腎不全保存期の合併症および腎代替療法について講義し、腎不全進行の病態を理解する。